

推進するほか、生産性及び収益性の向上を図り、農業の持続的発展に努めます。

さらに、近年、農家の経営規模拡大による大規模草地への預託希望の増加に伴う施設の増築、草地整備改良が必要であることから、事業計画策定に向けた調査など、令和5年度からの整備に向けた取り組みを進めます。

◆**林業**
森林整備及びその促進に関する費用に充てることとされている森林環境譲与税を活用した、下刈りや間伐材等の運搬費に対する補助などを行い、森林の適切な管理・保全に努めます。

◆**中小企業振興**
これまで、担い手、後継者不足などにより、慢性的な人手不足に悩まされていますが、関係機関、地元企業と連携し、相互の情報や認識を共有するとともに、中学生向け企業説明会などの開催を継続し、企業を知ってもらう機会を創出していくことで、地元就職に繋がります。

◆**観光振興**

「稼ぐ」観光地の実現に向けた取り組みの舵取り役と

なる「地域連携DMO候補法人」の認定を目指し、地域の関係者と連携しながら、マーケティング事業などに着手します。



サイクルルートモニターツアーの様子

新型コロナウイルスの感染が、収束と拡大を繰り返している中、「わっかない観光活性化促進協議会」が実施する、独自のクーポン事業やサイクルツーリズム商品の造成、個人観光客の満足度向上に必要な不可欠な二次交通対策の充実などに支援します。

◆**港湾機能**

クルーズ船の寄港については、本格化するには時間を要する状況にあると受け止めていますが、これまで国内外から延べ14隻の問い合わせがあり、現在のところ国内1隻、国外7隻の寄港が見込まれています。

新型コロナウイルス感染が沈静化することを前提に、

受け入れ体制を整えます。

④ **互いに支え、いきいきと生活できる暮らしづくり**

◆**地域医療・介護の充実**

人口減少等により、公立・民間を問わず、医療機関を巡る環境には、色々な問題が顕在化していますので、医療・介護体制の安定的な確保に向け、関係者とも十分協議を進めます。

また、介護人材の確保に向けては、稚内大谷高等学校と協力して、学生も市民も受講しやすい講座を開設して、介護資格の取得支援に取り組みます。

◆**地域共生社会の実現**

これまで、誰もが活躍の場を持ち、社会に参加して、ともに支え合うまちづくりを目指し、高齢者の皆さんが集まるサロンや介護予防教室の開催のほか、二トやひきこもりの方への相談支援、就労支援など、やりがいや生きがいを持つて、社会参加していただくための支援にも取り組んできました。

これら「地域づくり支援」、「参加支援」、「包括的な相談支援」を3本柱に、障がい、高齢、生活困窮など、包括的に支援する体制づくりを進めます。

進めます。

◆**合葬墓の整備**

少子高齢化や核家族化の進展により、お墓の維持管理や継承が困難な方、あるいは、お骨の保管に苦慮されている方々が増えていることから、仏教会など関係者との協議を進め、一定の理解を得ましたので、新たに合葬墓の整備に着手し、令和5年5月の供用開始を目指します。

◆**カーボンニュートラルの推進**

令和3年2月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、公共施設や街路灯のLED照明化、電気自動車の導入、再生可能エネルギーの地産地消事業における自己託送などにより、二酸化炭素排出量の削減を明確化させるなど、ゼロカーボンに向けた取り組みを進めてきました。

令和4年度はそれらをさらに推進し、講演会や勉強会等を通して、脱炭素化への理解を深め、意識を高める取り組みを進めます。

また、「脱炭素先行地域」としての選定を目指すため、まずは実行計画を策定し、

令和4年度中の選定を目指したいと考えています。

◆**鳥獣被害防止対策**

冬期間の裏山ライフル捕獲を再開することに加え、捕獲実績のある囲いわなを現在の旧西小中学校から場所を変えて実施するなど、更なる効果が上がるよう取り組みます。

また、アライグマについても、箱わなによる捕獲を継続して行い、被害防止に努めます。

◆**マイナンバーカードの活用**

市役所の窓口で発行している住民票と印鑑登録証明書、マイナンバーカードを活用し、コンビニ等で取得することができるサービスを開始します。

◆**安心・安全なまち**

特殊詐欺の被害相談が、幅広い年代から寄せられており、啓発活動・情報発信による被害の未然防止、消費者の安全・安心の確保に努めます。

昨年、本市で初めて「交通死亡事故ゼロ1000日」と、「交通事故死2年連続ゼロ」を達成しましたが、関係機関や団体との連携による意識啓発や、交通安全

運動への取り組みを推進します。

子どもたちの見守り活動などを継続することも、稚内警察署や関係団体と連携しながら、防犯活動に努めます。

⑤ **まちを愛し、世界に誇れるふるさとづくり**

◆**国内外の交流**

友好都市である沖縄県石垣市や、鹿児島県枕崎市との周年事業を計画しており、交流を通じてできる絆をさらに強め、次代を担う若者や子どもたちに繋がっていきたいと考えています。

一方、国外においては、ネベリスク市との友好都市締結50年の節目の年を迎えますが、ロシアを巡る国際情勢が極めて緊迫度を高めており、周年事業などについては、今後、適時適切に判断していききたいと考えています。

◆**ふるさと納税制度の活用**

毎年、全国各地の多くの皆さんから、「ふるさと納税」を通じ、多額の寄付をいただいております。有効に活用させていただいております。今後、皆さんに共感し

「ふるさと」を目指し、まちの魅力

力のPRに努めるとともに、地方創生につながる取り組みを進めます。

◆**むすび**

新型コロナウイルスの影響から一日も早く脱するためにも、今の感染状況を乗り越え、ワクチン接種や検査体制の充実など、今後もしっかり取り組みます。

これまで以上に機を逃さず、市民生活の安全と経済の維持・回復に、機動的、積極的に取り組む覚悟です。先人から受け継いだ「ふるさと」を、未来を担う子どもや若者たちに安心して引き継ぐためには、今以上に市民の皆さんと思いを一つにして行動することが重要です。

令和4年度は、残された課題の解決に全力を傾けるとともに、これまで以上に職員と一丸となって、このまちの明るい未来の実現を目指していききたいと、決意を新たにしているところで

市民の皆さん、市議会議員の皆さんにおかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。